

- 問1 2012年にロンドンで夏季オリンピックを開催した島国は、長年ヨーロッパの統合組織に加盟していましたが、2020年1月にこの組織から正式に離脱しました。この出来事に関する記述として最も適切なものはどれか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. イギリスが、国民投票などの結果に基づきヨーロッパ連合（EU）から脱退した | 2. ドイツが、経済格差を是正するためにヨーロッパ連合（EU）からの脱退を宣言した | 3. イギリスが、軍事的な中立を保つために北大西洋条約機構（NATO）から脱退した | 4. フランスが、通貨統合に反対してヨーロッパ共同体（EC）から脱退した |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問2 EU（ヨーロッパ連合）や、北アメリカで見られる経済的な結びつきにおいて、加盟国間で関税をなくすなどの取り組みを行った結果、隣接する特定の加盟国間での貿易の割合が極めて高くなる現象を何と呼びますか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-------------|------------|------------|
| 1. 地域内貿易の活発化 | 2. 世界貿易の均等化 | 3. 持続可能な開発 | 4. 輸入代替工業化 |
|--------------|-------------|------------|------------|
- 問3 北欧に位置するノルウェーでは、国内の総発電量の約9割以上を特定の再生可能エネルギーでまかなっています。この国で最も主要な発電方式はどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 風力発電 | 2. 原子力発電 | 3. 火力発電 | 4. 水力発電 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問4 ノルウェーの西海岸に見られるフィヨルドと、日本の三陸海岸や志摩半島に見られるリアス海岸は、どちらも複雑に入り組んだ海岸線を持つ共通点がありますが、その成り立ちには違いがあります。フィヨルドの形成に直接関わった要因として、リアス海岸には見られない特徴的なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 1. 過去にその地域を覆っていた氷河による浸食 | 2. 波の浸食によって削られた海食崖の連続 | 3. 火山活動による大規模な陥没と海水の侵入 | 4. 河川の浸食によってできたV字谷の沈降 |
|-------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|
- 問5 ヨーロッパの国々の中には、険しい山地が国土の大部分を占めているため、農耕や居住に適した平地が限られている国があります。このような地形的特徴を持つ国と、その要因となっている山脈の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 1. イギリスやドイツにおける、スカンディナビア山脈 | 2. フランスやオランダにおける、ピレネー山脈 | 3. スイスやイタリアにおける、アルプス山脈やアペニン山脈 | 4. デンマークやベルギーにおける、ウラル山脈 |
|----------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|
- 問6 フランスの産業的特徴について、工業面での国際的な取り組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. EU最大の農業国であるため、航空機などの高度な工業製品は北欧諸国からの輸入に依存している。 | 2. ヨーロッパ諸国間で部品製造を分担する国際分業を行い、国内で航空機の最終組み立てを行っている。 | 3. 他国に頼らず、全ての航空機部品を自国内で一貫生産する体制を築いている。 | 4. 安価な労働力を確保するため、航空機の組み立て工場のすべてをアジアやアフリカに移転させている。 |
|--|---|--|---|
- 問7 ヨーロッパにおける言語の分布を調査した資料において、ドイツ、イギリス、そしてスウェーデンなどの北欧諸国を含む北西部から中部の地域に広く分布している言語グループを何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| 1. ゲルマン系言語 | 2. ギリシャ系言語 | 3. スラブ系言語 | 4. ラテン系言語 |
|------------|------------|-----------|-----------|
- 問8 北欧のノルウェー沿岸などに広く見られる、奥行きのある複雑な形状をした湾をフィヨルドと呼びます。この地形が形成される主な原因となった作用と、その後の過程について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 氷河によって削り取られた深いU字型の谷に、海面の上昇や土地の沈降によって海水が入り込んだ。 | 2. サンゴ礁が堆積してできた地形が、波の強い侵食作用を受けて複雑に入り江を形成した。 | 3. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が流れ込んで形成された。 | 4. 河川の侵食によってできたV字型の谷が、海面の上昇によって海水に満たされて沈水海岸となった。 |
|--|---|---|--|
- 問9 ドイツ周辺で見られる気候のデータとして、年平均気温が10.0℃、年降水量が578.3mmという統計があります。この地域の気温と降水量の推移に関する説明として、背景や理由を含めて正しく述べたものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 偏西風や暖流の影響を受けるため、冬の気温が氷点下にならないほど温暖で、気温の変化を示す曲線がなだらかなる。 | 2. 熱帯収束帯の影響を強く受けるため、年間を通じて気温が25℃を超え、降水量が2000mmを上回る多雨となる。 | 3. 広大な大陸の内部に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きく、年降水量は300mmを下回るほど乾燥する。 | 4. 南半球に位置しているため、北半球とは季節が逆になり、7月前後の気温が最も低く推移する。 |
|--|--|---|--|
- 問10 北ヨーロッパのノルウェーなどの地域では、土地利用の統計において耕地面積の割合が低く、森林や牧場・牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような土地利用が行われる背景にある自然環境と、その環境に適応して発展した農業形態の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 夏の降水量が極端に少ないため、乾燥に強いオリーブやぶどうを栽培し、羊を放牧する地中海式農業が発展した。 | 2. 熱帯に近い高温多雨な気候を利用し、輸出を目的として特定の農作物を大規模に栽培するプランテーションが発展した。 | 3. 温暖で平坦な土地が広がっているため、小麦の栽培と豚などの家畜の飼育を組み合わせた混合農業が発展した。 | 4. 冷涼な気候のため穀物の栽培が困難であり、牧草地を活用して乳牛を飼育し、乳製品を生産する酪農が発展した。 |
|--|---|---|--|
- 問11 1993年を境にヨーロッパ諸国の食生活が変化した背景を説明した記述として、欧州連合（EU）の発足による影響をふまえた最も適切なものを選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 域外からの輸入を完全に禁止する法律が制定されたため、すべての加盟国で自給自足が達成され、伝統的な食文化が保護されるようになった。 | 2. すべての加盟国で共通のメニューを食べることが義務付けられたため、各国固有の食文化が消滅し、食生活の均一化が急激に進んだ。 | 3. 共通通貨ユーロの導入によって物価が非常に高騰したため、人々は安価な冷凍食品のみを食べるようになり、外食文化が衰退した。 | 4. 域内での物資の移動にかかる関税や国境検査が原則として廃止されたことで、他国の新鮮な農産物や特産品が安く流通し、食生活が多様化した。 |
|---|---|--|--|
- 問12 2019年の統計資料によると、日本、フランス、オランダ、ドイツのうち、小麦と牛乳・乳製品の自給率がともに100%を大きく超え、EU（欧州連合）最大の農業国として多くの農産物を輸出している国はどこですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|--------|
| 1. フランス | 2. オランダ | 3. 日本 | 4. ドイツ |
|---------|---------|-------|--------|